

2024 年 都議会 文教委員会 (11.29)

大島海洋 国際高校の 施設改善を

「改築に向け検討を進めていく」 教育庁答弁

日本共産党東京都議会議員団

とや英津子 都議 (練馬区)



都立大島海洋国際高校の寄宿舎の食堂

築59年 教育施設として課題

○とや委員 大島海洋国際高校についてです。

この夏、私も会派で、伊豆大島にある大島海洋国際高校と大島高校の視察に行ってきました。

どちらの学校も自然に囲まれ、海を間近に見ることができるよい環境の下で生徒が学んでいます。この学校は、海洋や水産について学ぶことができる、全国でも珍しい学校です。全寮制の高校で、内地から入学した生徒は寄宿舎に入舎し、三年間を過ごします。よい環境で三年間を終え、卒業してほしいと思います。

一方、海に囲まれた伊豆大島にある学校という、内地にはない課題も抱えています。

そこです、この都立大島海洋国際高校の築年数、そしてこの間の改修や改築の状況について伺います。

○村西都立学校教育部長 大島海洋国際高校の築年数は五十九年でございます。この間、

寄宿舎の受変電設備改修工事等、必要な修繕等を行っております。

○とや委員 私は、二〇一九年、台風被害の際も大島海洋国際高校に調査に行つて、割れた窓、雨風にさらされて使い物にならなくなった海図、それからパソコンも全て駄目になってしまった状況も見えました。

このときもそうだったんですが、やっぱり島の学校である大島海洋国際高校は、海風に本当にさらされている。そして、内地の学校と比較しても、校舎のトイレ、プール、寄宿舎も傷みが激しく、教育施設として課題があると思いました。

都としてどのように認識していますか。

○村西都立学校教育部長 学校施設の維持管理は適切に行う必要がございます。

大島海洋国際高校の施設につきましても、不具合等が生じた場合には、その状況に応じて必要な修繕、改修等を適切に実施しております。

○**とや委員** 学校施設の維持管理等は適切に行う必要があるというところで、当然のことではあります。が、はっきりとその立場を表明いただいたことは重要であります。

しかし、私たちが視察した状況をもって、適切に実施しているとおっしゃるのであれば、それはちよつと適切な水準が低過ぎるのかなと思います。このことは後でまた質問させていただきます。

都立学校教育部長 「改築に向け 検討を進めていく」

高校の築年数は五十九年とい

うことで、老朽化している現状であります。

都教委は、十年ほど前にも大島海洋国際高校の改築のための調査をしていたそうですが、立ち消えになったと聞いています。理由を伺います。

○**村西都立学校教育部長** 大島海洋国際高校につきましては、先ほど他の委員にもお話ししたとおり、施設の老朽化が進んでいたため、平成二十八年度に改築に係る基本計画作成業務を実施し、課題を整理してございます。

しかし、その後、学校の在り方を検討する中で、国際科から水産科への学科改編等を行うことになったため、これを踏まえ、改築についても改めて検討することとなっております。

○**とや委員** 調査をしたのが平成二十八年、二〇一六年で、学科の改編を決めたのは二〇一八年です。その二年後なわけです。

調査結果を踏まえ、学科改編に合わせた設計等を進めるのに、ちよつどよいタイミングだったのではないのでしょうか。なぜそこで立ち止まってしまったのか、理解に苦しみます。



質疑するとや英津子都議（左）と齊藤まりこ都議
(2024.11.29 都議会文教委員会)

やつと改修してもらえと思ったら、立ち消えになってしまったというのでは、学校もがっかりです。重ねていいですが、海に囲まれた学校は、そうでな

い他の学校よりも傷みが激しいです。ですから、きめ細かく点検し、修繕、改修が求められているわけです。

都教育委員会としても、ぜひ認識をしてください。

そして、今年ようやく学校の改築に向けた基本計画策定委託がされていますが、どのような内容ですか。また今後のスケジュールもお答えください。

○**村西都立学校教育部長** 基本計画作成業務は、現地の現況や法令の規制等、改築に向けた設計上の課題を整理するものでございます。

先ほども他の委員に答弁したとおり、本業務の結果を踏まえ、大島海洋国際高校の改築に向けた検討を進めていくこととしております。

○**とや委員** 学校も生徒も保護者も待ち望んでいます。今度は改築に向け、早期に必ず進めてください。

旧寮を建て替えて 寄宿舎として 使うべき

視察させていただいて驚いたのが、敷地内の旧校舎であります。写真に撮ってまいりましたので、パネルをご覧ください。二十年前、学校が大島南高校から大島海洋国際高校となったとききに寮が移転し、敷地内には、か



木々に覆われ昇降口に近づくのも困難（旧拓水寮）



って活用していた寄宿舎の建物がそのまま残っています。立派な鉄筋コンクリートの建物で、きちんと手入れをしていけば現在も活用できたものが放置されてきたわけです。木々が覆いかぶさり、昇降口に近づくのも困難な状況で、ぼろぼろの廃墟のようになっております。キョンもすみついていいるというわけです。

今後どのように対応するのか

伺います。

○小山委員長 進めてください。

○村西都立学校教育部長 旧校舎は、現在使用しておりません。現在実施している基本計画作成業務の結果を踏まえて、今後の対応を併せて検討してまいります。

○とや委員（パネルを示す）失礼しました。寄宿舎はこちらでございます。皆さん、よくご覧になってください。

ぜひにお願いしまして、危険のない範囲で見せていただきましたが、本当に中はぼろぼろなんです。動物が荒らした跡もあって、本当にひどい状況でした。ここをきちんと改築すれば、生徒にとっても学校から近くて使いやすい寄宿舎になるのにといいながら、建物を見せていただきました。

現在の寄宿舎は、もともと寄宿舎として使っていたものではなく、大島セミナーハウスとし

て教職員の研修や高校の合宿などで使う施設だったと聞いています。そこを大島海洋国際高校の生徒が寄宿舎として利用しているわけですが、学校から三キロメートルと少し遠くて、造りも寄宿舎というより短期滞在を前提したものになっていて、こちらも築五十年です。学校の近くにある元の寄宿舎を建て替えて、生徒の寄宿舎として使うべきだと思います。

この建物は放置されて約二十年もたっています。都民の財産であるこのような建物を放置していることは、土地も含め本当にもったいないのではないのでしょうか。直ちに対策を取り、この場所に生徒の寄宿舎を建てるべきです。強く求めています。

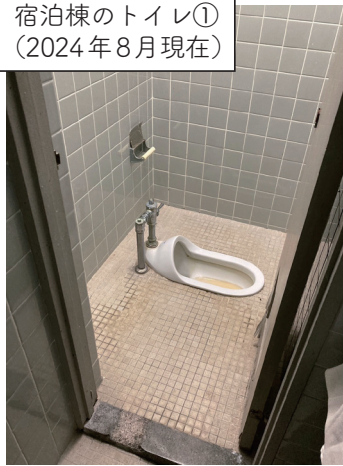
今の寮も 直ちに改修が必要

また、施設を改築するにして

宿泊棟の共用トイレ② (2024年8月現在)



宿泊棟のトイレ① (2024年8月現在)



も期間を要しますので、今必要な修繕、改修は行わなければなりません。そこで、今の寄宿舎の問題についてです。

これは生徒が利用する寮のトイレです。(パネルを示す) こちらは寮の宿泊棟の共用のトイレ。

私たちが視察に行ったときは和式だったわけですよ。これですね。入りたくないですよ。経年劣化で黄ばんでいます。ドアの下にくつずりは、えぐれたような大きなへこみができていたり、床や壁もかなり年季が入っていることが分かります。老朽化したトイレ特有の臭いもあり立ち上ってくる状況でありました。

そして、もう一つが、三人部屋などとなっている生徒の部屋の片隅に添えられているトイレであります。こちらです。かなり狭い上に老朽化していて、給水管から水が噴出する事故が数回生じているとのこと、保護者の方からお話を伺いました。水浸しのトイレを寮の先生が夜中に雑巾で掃除をしたそうなんです。九月以降、和式のトイレは洋式に変更したということですが、便器を和式から洋式に変えただけで、壁や床はそのままだと事

前に説明を伺いました。

生徒の部屋のトイレ、洋式ではあるが…。



暗くて臭いもあり、とても気持ちよく利用できる状態ではありません。直ちに改修しないと精神衛生上も悪影響を及ぼし、人権問題にも関わります。どのように対応しますか。

また、トイレの改修をする際は、とても現地の業者ではできないそうです。学校任せにせず、都教委が責任持つて行うべきではありませんか。

○村西都立学校教育部長 寄宿舎につきましては、既に各居室

のトイレは全て洋式化されております。

食堂等のあるサービス棟など共用部についても、昨年度から、島の事業者により洋式化や扉等の必要な改修を行って、現在では既に完了しております。

また、こうした改修につきましては、教育庁の職員が現地の状況をしっかりと確認し、学校に対して必要な対応を示して実施したものでございます。

快適なトイレは
健康にも
精神面でも効果

○とや委員 現状で問題ないような答弁ですが、決してそんなことはありません。一九九〇年代の学校のトイレは、汚い、臭い、暗い、怖い、壊れていると、5Kといわれていました。

東洋大学教授の長澤悟氏らは、トイレは単に排せつの場である

だけでなく、学校でほっとできる場、身だしなみを整える場として児童生徒に意識され、健康で安心感や、ゆとりのある学校生活を送る上で重要と述べています。

こうした考えから、各地でトイレの洋式化にしたり、子供たちが快適に使えるように改善がされてきました。

現寄宿舍の部屋を視察するとや英津子都議



例えば世田谷区では、教育委員会の中にトイレ研究会を立ち

上げ、計画的に全校のトイレ改修をしました。モデル校を指定して、仕様も見直して、洋式化への改修だけでなく、明るさ、床材、壁材、ユニバーサルデザインなど、詳細にわたる検討をして、改善しています。

その結果、児童生徒の快適さにおける評価は急上昇し、大便をする場合にも、割合も格段に上がったということです。生徒の健康にも、精神面でも効果をもたらされたという結果が出ています。

一方、都立学校では、こうした生徒の立場に立った工夫、時代に合った改善という観点での改修ではなく、洋式化されただけというお粗末な改修しかされていない学校があるわけです。その一つが大島海洋国際高校です。

学校や寄宿舍は、親元から離れて生徒が暮らす場であり、生徒たちが安心して使用できる清

潔で明るく快適なトイレにすることが重要です。そのため、学校や生徒の意見も取り入れ、何十年も同じままにするのではなくて、しっかりと改修し、アップグレードするべきではありますが、いかがですか。

○村西都立学校教育部長 学校では、生徒や教職員等の意見を踏まえ、必要な施設の改修等を行っております。

都教育委員会は、その際に必要な助言や予算の配布を行っております。

○とや委員 私たちのところには、幾つもの学校や保護者から、毎年のように都教委に要望しているけれども、なかなか対応してもらえないという声が届いていますよ。現状で問題ないとはとてもいえません。

私、先日、地元の石神井特別支援学校にもお邪魔をさせていただきました。築四十年なのですが、トイレの全面改修を行っ

たということ以案内をしていたできました。

これがそのパネルです。皆さん見てください。さっきと大違い。



照明も壁、ゆかも改修され、暖房も設置
(石神井特別支援学校)

美しく改修された石神井特別支援学校のトイレ
(左：大人用、右：子ども用)



白い個室が子供用、茶色は教職員など来客も使える大人用です。便器だけでなくて、床も壁もすっきりきれいになって、暖房も設置されて、冬に服を脱いでも寒くない。都教委でもこんなにきれいにできるのだと、よい意味で驚きました。

大島海洋国際高校では、生徒が住んでいるんです。ぜひこの水準になるよう取り組んでいたことを強く求めておきます。

長期にわたる寄宿舎での生活は、生徒のメンタル面での影響も考慮する必要があります。

そうしたとき、トイレという一人になれる場所はとても重要という先生からの声もあります。直ちにに取り組むべきです。現地に行つて、学校からも生徒からも意見を聞いて進めてください。

プールの改修も必要

また、課題はそれだけではあ

りません。プールの改修も必要ではありませんか。

○村西都立学校教育部長 プールにつきましては、外壁の一部のコンクリートが剥落している部分がございますが、教育庁の職員が現地の状況を確認した上で、学校に対してモルタル等で補修をするなどの修繕方法を示しております。

現在、学校においては、この方向で工事の実施に向けた対応をしているところでございます。



プールの側面のブロックが欠落し、中の鉄筋が見えている

○とや委員 プールも視察しました。これがその写真です。プールの周りを歩きましたが、どう見ても、単にブロックが少し剥がれ落ちていっているというだけとは見えません。ブロックが膨れ上がって水分を含んで、もろくなっているように見えますし、中に入っている鉄筋がむき出しになり、さびているのが見えます。素人目に見ても、モルタルで塞いただけでは不十分なのは明らかです。

こうした状況、状態が、この写真の二か所だけでなくって、何か所もあるんです。こういう状態が。外側の壁を塗ればよいというものではないわけです。

百トンもの水を支えるプールの壁面です。プールの上に子どもたちがいるときに、大きく崩れたらどうするんでしょうか。子どもたちの教育の場が危険極まりないという状況が続けば、都教委の責任問題にもなります。ぜひ来年の夏までに全面改修してください。抜本的に改修してください。強く求めておきます。

風呂への通路が川のようになるのは不衛生

また、寄宿舎と浴場、食堂がある棟をつなぐ通路についても大きな問題があります。それがこのパネルです。

宿泊棟と浴場のある棟を結ぶ通路。通称「ドミ川」



雨水により土が流され樹木の根が露出



生徒が、入浴や食事をする棟から居室がある宿泊棟につながる道は高低差があつて、雨が降ると、移動の際に、通路に水があふれて川のようになるそうです。この通路が川になるんです。こうなつて、水に洗われて、もう根っこがむき出しになっていきます。

そのため、入浴後に宿泊棟に着くまでに足は泥で汚れてしまふけれども、足を洗う場所もないと聞きました。もし足に傷で

もあれば、何かの細菌に感染しかねません。このような状況は問題だと思いませんか。

○村西都立学校教育部長 すみません。今のこの通路の答弁に入る前に、ちょっとプールのことについてご説明したいんですけれども、ちょっと安全に関わることでございますので。

モルタル等で補修をするなどの修繕の方法という形で、我々が技術の職員を含めてちゃんと視察に行つて現地を確認しており

ます。それで、この剥落については、構造壁ではないので、当該外壁が仮に崩落したところで、プール自体が崩壊するとか、そういういった危険性はないと。これは、我々の技術職員もそうですし、島の事業者についてもそういった確認をしています。

ただ、その崩落については、しっかりときちんと全部補修、モルタル等でしっかりと補修して、そこはしっかりとやっていきたいということでございます。

続きまして、通路についてでございますが、先ほど来繰り返しているとおり、私たちとしては、施設の維持管理を適切に行う必要があるというふうに考えております。

寄宿舎の通路につきましては、これも教育庁の職員が現地の状況を確認の上、学校に対して、排水ますとか、その辺が詰まっているということですので、側溝等の清掃、さらに土のうの設

置など、具体的な改善方法を今指示しております。

現在、学校では必要な工事等を実施しているところでございます。

○とや委員 今プールのお話があったので、私からも申し上げますけれども、島の業者さんにも見てもらったとおっしゃっていますけれども、私も聞いていますよ。特に、やっぱりプールを支えているその支柱ですが、そこがやっぱり駄目になっていると。そういう話もあるんですよ。だからモルタルだけでは駄目だっていつているんですよ。(発言する者あり) そう。

清掃や土のうでなく 抜本的改善を

そして、寄宿舎の話です。この寄宿舎、この奥にあるんですけれども、ドミトリイと呼ばれています。雨が降って川になる



と、生徒たちはこの道路をドミ川といっているそうです。本当に川のようになり、側溝の清掃や土のを積んだくらいでは改善されないんですよ。

先日は、生徒が転んでけがをしたそうです。危険なドミ川は一刻も早く抜本的に改修すべきです。

寄宿舎と浴場をつなぐ通路については、生徒が泥だらけにならないよう改修すべきなんです。都はどのように対応しますか。

○村西都立学校教育部長 繰り返しの答弁でございますが、寄宿舎の通路については、今、学校に対して側溝等の清掃や土のうの設置等、具体的な改善方法を示し、学校は一部もう工事に着手しております。この効果をしっかりと見極めたいと考えております。

○とや委員 抜本的な工事が必要だと思えますよ。ぜひ、効果を見極めるとおっしゃっていますけれども、生徒の声とか、教員の声とか、現場からもちゃんと聞いてあげてほしいんですよ。ぜひ部長も大島へ行ってください。（発言する者あり）行っていません。お金を渡して終わりではないけません。学校では対応できないと何度

も要請されているはずですよ。なぜなら、大島には大規模な工事をする業者がないということもあって、予算だけ計上されても改修はできないそうです。都教委が内地の業者も探して発注すべきですが、いかがですか。

○村西都立学校教育部長 まず、内地の事業者につきましては、私も確認をしました。が、工事ができないという事業者は、そういう事実はございません。工事是可以という事業者がいると、建築等の事業者がいるというふうに聞いております。

引き続き、予算の配布も含めて、技術的助言をこれまでもやってきていますので、都教委としてしっかりと学校を支えてまいります。

○とや委員 先ほどから、できるとか学校に助言をしていると繰り返しているわけですが、それでは、こういう状況になるのは学校が悪いというんでしょう

か。私は視察に行った際、学校だけでなく、地元の方からも大島の実情をいろいろ伺いましたが、助言すればスムーズに進むような単純なものではないと感じています。

ぜひ生徒の立場に立って、学校や寮が快適になる改修を実施できるまで、親身な支援を行っていただきたい。学校を設置しているのは都教委で、環境を整えるのも都教委の仕事なので、から、しっかりとやっていただきたいと思えます。

教職員の働く環境の整備も都教委の仕事

教職員の働く環境も改善が必要です。パネルをご覧ください。私たちが訪ねたとき、寄宿舎担当の何人かの先生が、寄宿舎の職員室で仕事をしていらっしました。しかし、職員室は薄

暗くて、よく見ると蛍光灯が
ついてないところが一部あります。

点かない蛍光灯とLEDが混在し、暗い職員室



皆さん、ご覧になってくださ
い。ここも、ここも一本。これ
はLED、これは違います。一
部はLEDに替えることができ
たようですが、一部は蛍光ラン
プも外されていました。

写真を見ていただくと分かる
わけですが、この列、この列で
すね。蛍光灯は二本とも外され
ています。その隣は、一本だけ

ついている。真ん中の列は、一
つがLED照明に変更されて、
その隣は蛍光灯が一本だけつい
て、一本が外されている。

こういう不自然な間引きとい
うか、不自然な状況なんですよ。
一番奥の列は蛍光灯が四本つい
ているわけです。明らかに不自
然ではありませんか。

一番手前の蛍光灯の下は、仕
事をするにはあまりにも暗過ぎ
ます。伺いましたら、照明器具
そのものが壊れ、蛍光灯の管を
入れても、つかないそうです。
しかも、LEDに交換するなら、
なぜ一斉に交換しないのでしょ
うか。

寄宿舎の職員室では蛍光灯の
枠が壊れて、蛍光灯をつけられ
ない。今申し上げましたけれど
も、電気がつかない。先生用の
給湯室もぼろぼろで、換気扇を
つけると轟音がします。

それから、こちらの写真です
が、トイレ。トイレも洋式になっ

ていますが、壁も床も古くて、
気持ちよく使えるものではありません
でした。学校の予算だけ
ではできないわけです。

教職員用トイレも、昨年便器を替えただけ



こうした場所を放置し、学校
任せにせず、改修もすべきでは
ありませんか。

○**村西都立学校教育部長** 寄宿
舎の管理室、今、職員室とおっ
しやったところでございますが、
その蛍光灯は、既にLED化の
改修を学校が自ら実施すると

もに、また、今お見せいただい
た管理棟のトイレについては、
昨年度来、教育庁の職員が現地
の状況を確認した上で、便器の
洋式化とともに、小便器の自動
洗浄化の改修も実施するなど、
予算を配布し、適切に対応して
おります。

蛍光灯の話ですけれども、委
員がちよっと不自然に間引いて
いると。学校に聞きました。学
校に確認しました。学校は、時々
震災対策や節電の一環で蛍光灯
を間引きする場合があるが、管
理室内の照度に問題はなく、現
在不具合はないと申しております。

いずれにいたしましても、蛍
光灯の不具合などについては、
しっかりとそれは学校が適切に
対応を行うべき問題であるし、
技術的な助言が仮に蛍光灯が必
要であれば、我々もしっかり支
援してまいります。

○**とや委員** 私たちが帰った後

にいらつしやったようですねけれども、結局、LED になっていたりするところはあるわけです。ある。けれども、今お見せした写真のーか所、あともうーか所だけだったわけですよ。だから、全部やればいいじゃないですか。せっかく。都教委、お金持ちじゃないですか。

トイレも確かに洋式化され、小便器に自動洗浄機もついていましたよ。今見ましたけれども、だけれども、まあ改修したことは重要だと思います。同じ改修するなら、どうして全体を気持ちよく改修しないのでしょうか。そもそも、教職員のトイレも昨年まで和式だったのかと、逆の、今の答弁にびっくりしています。

昼夜を分かつ子どもたちのために奮闘している教職員の皆さんの職場環境の整備も、都教委の重要な仕事です。この棟は天井も染みだらけでしたし、寄宿舎全体として、まだまだ改修

が求められると感じるところがありました。全体をよく見て、学校や生徒、保護者の意見も踏まえ、しつかりとした改修を行っていただきたいと思います。

大島海洋国際高校の視察を行う、左から齊藤まりこ都議、とや英津子都議、あぜ上三和子都議



学校施設を 快適に維持する 計画策定を

最初の答弁にもありましたが、都教委の学校施設の改修は、結

局、大規模改修や改築になるまで、つまり大規模改修や改築の計画である維持管理十か年計画以外には、施設を快適に維持し、時代に合わせたグレードアップをしたり、長もちさせるための計画がないわけです。そして、法令点検以上の定期的な点検もしないんですよ。不具合が生じて初めてそのところを修理するということが中心なわけです。

しかし、民間のビルやマンションでも、毎年どこを点検し、築十年ではどうするか、二十年、三十年、四十年ではどうすると、コンクリートを長もちさせるための外壁塗装や、給排水管や水回りの更新、その他施設設備の維持更新をどのように行うかの計画をしっかりと持っています。それをしなければ、施設を快適に長く使うことはできません。

都立学校の施設管理に当たっても、ぜひこの視点を持っていただき、きめ細かい計画をしつ

かりつくつて対応していただくことを重ねて申し上げて、質問を終わります。

※このパンフレットは質疑の録音を
日本共産党都議団で文字起こししたものです

ご意見・ご要望をお寄せください

2024 年 12 月

日本共産党都議会議員団

163-8001 新宿区西新宿 2-8-1 都議会内

TEL : 03(5320)7270 FAX03(5388)1790

HP : <http://www.jcptogidan.gr.jp/>